



# すゝめ

患者さんと慶應義塾大学病院をつなぐ  
コミュニケーションマガジン

# 新病院棟オープンへ



新病院棟(1号館)5階には、国内屈指の大きさを誇る手術室フロアができます。手術を担当する医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士などがひとつのチームとなり、患者さんに優しく、安全で最先端な医療の提供を目指します。

100  
since 1917  
Keio University School of Medicine  
医学部開設100年記念

KEIO  
UNIVERSITY  
HOSPITAL  
Communication  
Magazine

Vol. 04  
Winter 2018

ご自由に  
お持ちください

広報誌タイトル「すゝめ」とは

タイトルは明治5年から9年にわたって出版された17編を数える  
福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすゝめ』に因んでいます。

# 新病院棟(1号館)は、2018年 5月7日(月)にオープンします!

新病院棟(1号館)の完成とともに、多くの病院機能が新病院棟で稼働します。各エリアに

スポットを当てて、その特徴ある機能をご紹介します。

## 5F 手術室



**低侵襲医療で、身体への負担を減らします。**

新病院棟では、全身麻酔の手術室が旧来の17室から20室に増え、各室の面積が拡張されます。最新の医療技術に対応したハイブリッド手術室では困難な症例にも対応。高精度の内視鏡や医療支援ロボット「ダヴィンチ」も手術室に備え、患者さんのために身体への負担をできる限り軽減する「低侵襲医療」を推進します。またフロアにはご家族のために手術結果などを説明する個室も併設しており、患者さんとご家族に寄り添いながら手術を行います。

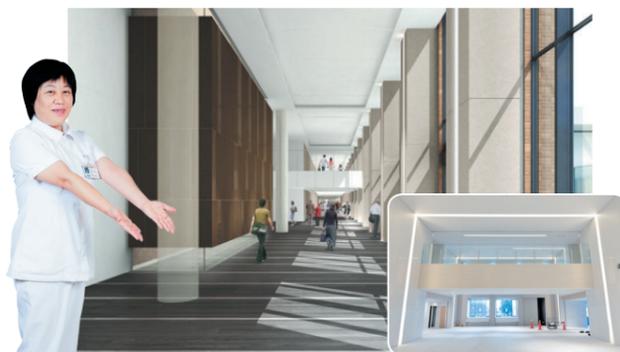
**受付から診察まで、わかりやすくご案内します。**

メインの通路「メディカルストリート」と「ホスピタルモール」は診療科を一つにつないでいる大通り。例えるならば大きな樹の幹です。「ホスピタルモール」から診察室が枝葉のように分かれ配置されています。受付機で受付を済ませると、受付票には診察する診療科のブロック受付の番号が表示されます。「ホスピタルモール」を歩いて表示されたブロック受付にお越しいただければ診察室のご案内をいたします。また、カフェラウンジも併設しておりますので、待ち時間などにご利用いただけます。



※この図は2020年の最終完成予想図です。

## 1・2・3F 外来エリア



## 9F 女性病棟



**女性が安心して療養できるフロアです。**

柔らかな色合いの病棟には、室内トイレのある3人部屋、専用ラウンジ、ウィッグや補正下着が試着できるサロンスペースなどを設けました。治療による身体的、精神的苦痛に配慮し、安心して治療に専念できる環境です。また、治療しながらも女性としてのそれぞれの役割を継続できるよう支援して参ります。ラウンジは、家族との大切な時間を過ごして頂くことは勿論、女性として同じ体験をしている患者さん同士が繋がることのできる空間を提供します。

**救急部門が拡張され、受入体制が強化されます。**

1号館入口横に配置される救急部門のスペースは、旧来から約3倍の広さに拡張されます。同エリア内にX線一般撮影室やCT検査室を設置して、重症の患者さんを診療する救急医療の体制を強化します。同時に、幅広い症状の患者さんを受け入れるために、例えば眼科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、産婦人科などの診療を行うことができる各スペースを整備しています。緊急時には専用エレベーターで手術室や集中治療室(ICU・HCU)のフロアまで直通運転します。

## 1F 救急エリア



※各施設写真は、建設途中もしくは完成予想イメージです。

ご確認ください

# 新病院棟(1号館)オープンに伴うお知らせ

5月1日(火)と2日(水)を臨時休診といたします。

外来診察室や病棟、手術室、検査室等、多くの機能を新病院棟に移転するため、**ゴールデンウィーク中(4/29(日)~5/6(日))の期間すべての外来診療を休診**とさせていただきます。

5月7日(月)から外来診察室・検査部門が新病院棟(1号館)に移転します。

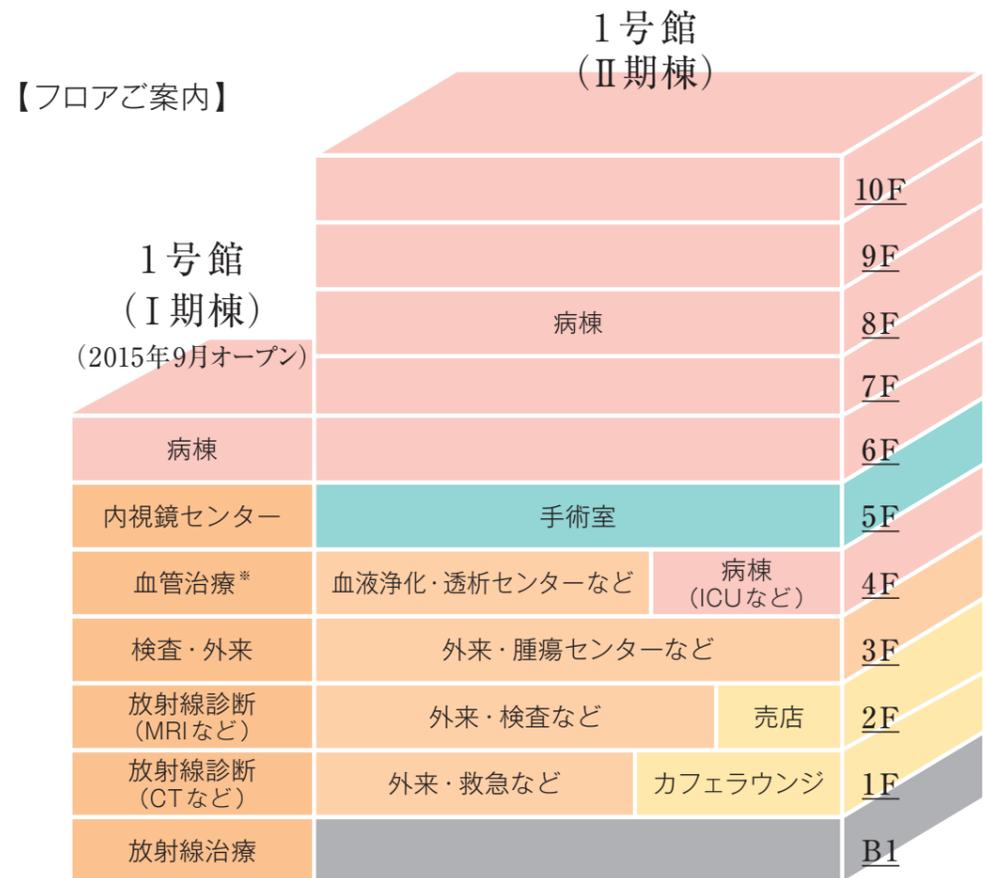
**【移転する診療科】**内科、外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、総合診療科、血液浄化透析センター、腫瘍センター、輸血細胞療法センター、スポーツ医学総合センター(アスリート外来)、漢方医学センター、免疫統括医療センター、救急センター、感染症外来、心機能検査、超音波検査、×線検査

正面玄関の扉の開く時間の変更(5月7日(月)より)

病院内のセキュリティ強化のため、診療日の正面玄関の開錠時間を午前7時45分から午後7時までとします。

自動再来機の受付時間の変更(5月7日(月)より)

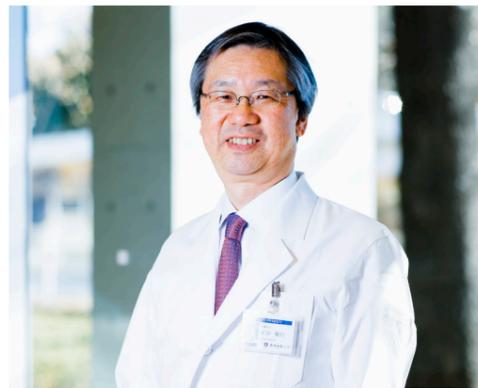
・午前の予約患者さんは、**午前7時45分から**自動再来受付機で受付できます。  
・午後の予約患者さんは、**午前11時から**自動再来受付機で受付できます。



※2019年移転予定

医学部長よりご挨拶

## 一家族のごとく医療者が協力して、最適な医療を提供



あまがい まさゆき  
医学部長 天谷 雅行

慶應義塾大学医学部は、1917年に、北里柴三郎を初代医学部長として開設されました。医学部開設は、慶應義塾大学の創設者であり、自然科学の重要性を唱えておられた福澤諭吉が強く望まれていたことでもありました。北里は、開設にあたり、「基礎医学と臨床医学が密に連携し「一家族のごとく一緒になって学問の研鑽に努力すべし」と慶應医学の

目指すべき特色を述べられています。この理念は、今でも私たちの行動の基盤となっています。高齢社会を迎え、医療の構造も変わってきています。一人の患者さんが一つの病気にかかり病院に来ていた時代から、同時に複数の病気を抱えて病院にかかる時代となってきました。慶應義塾の医療は、一人の患者さんに対して、異なる専門家が一家族のご

く集まり、最適な治療法をチームで考え、患者さんに優しい医療を提供しています。そして、医学研究と診療が一体となって、医学の進歩に貢献することも私たちの使命です。医学部100年を記念する新病院棟で、さらに満了いただける最新医療を皆様に提供できるよう、一層努力してまいります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



## 慶應看護100年を迎えて

慶應大学病院の開院にむけて、1918年慶應看護の始まりとなる慶應義塾医学科附属看護婦養成所(養成所)が開設されました。1920年病院開院に伴い看護業務を遂行する組織(看護部の前身)が誕生し、そのもとで看護婦が日常業務と看護学生の教育を行い、看護学生は授業を受けながら働くなど、看護部と養成所は一体化していました。1950年養成所は専門学校に移行し、短期大学、大学(以下、学部)へと教育体制及び教員の位置づけは変化してきました。2012年から看護部と学部は協働し臨床能力と教育能力の高い看護師の育成に取組み、以前にもまして強い連携を維持しながら慶應看護の継承、発展に努めています。「独立自尊」、「人間尊重」の理念にたち、つぎの100年に向けて大学病院の使命である臨床・教育・研究を発展させる人材(看護師・助産師)育成をしていく所存です。

この4月、看護教育の変遷を辿る写真を院内に展示します。医学部・大学病院とともに歴史を

重ね発展してきた慶應看護の軌跡をご覧ください。



前列右・看護部長 松田 美紀子

アトピー性皮膚炎の  
患者さんと交流を深め  
「オーダーメイド治療」を  
目指しています。



皮膚科  
えびはら たもつ  
海老原 全 医師

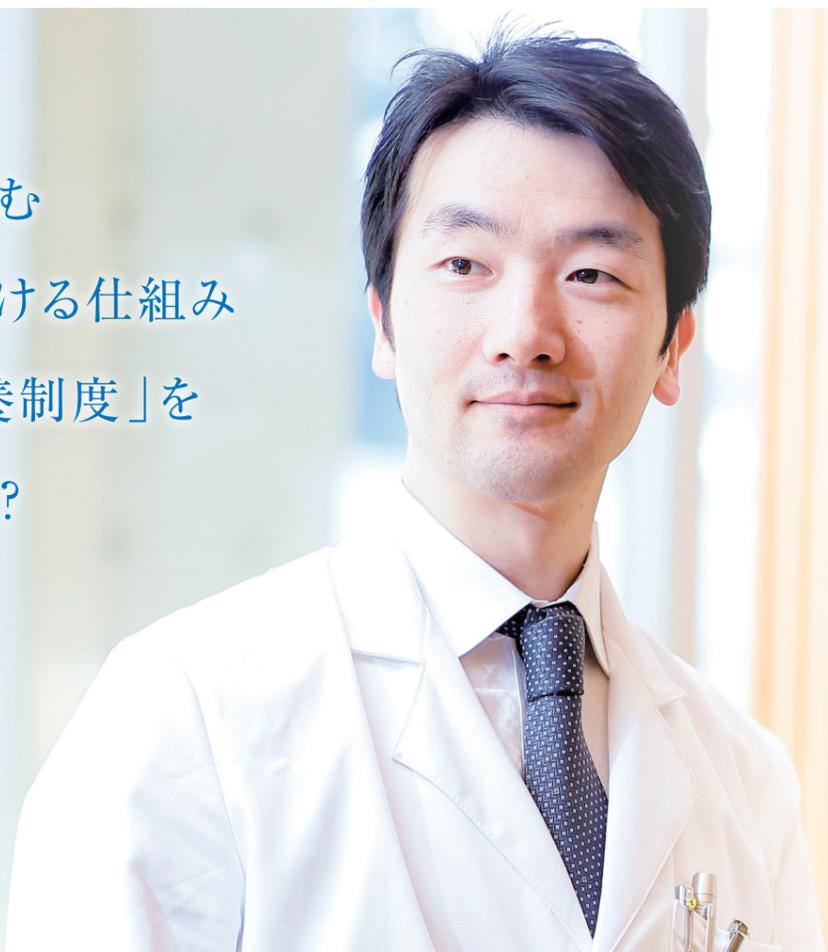
一口にアトピー性皮膚炎といっても様々な症状があり、一つの皮膚疾患として捉えている限りは、一人ひとりの患者さんの原因を解明することが困難になります。そのため患者さんとご家族の協力の元に、症状、治療の経過、検査の値、生活の環境、一部の患者さんについては皮膚の検査の結果などのデータを積み重ね、いくつかのグループを作ってから、各グループの中でアトピー性皮膚炎の本体を探ろうとする取り組みが進んでいます。これは医療の世界で層別化と呼ばれる、グループごとに病気の本体に近づこうとする試みの一環です。データ解析を行い、分析を重ねて病気の本体と適切な治療法を探り、その一歩先にある一人ひとりの患者さんに応じた「オーダーメイド治療」が提供できる個別化医療を目的としています。この取り組みの基礎となるビッグデータの解析を、慶應義塾大学病院は理化学研究所と連携して行っています。併せて、アトピー性皮膚炎の治療では患者さんと医師の双方向かつ親密なコミュニケーションを心がけています。ご家庭での塗り薬の使用状況、塗布する箇所、食生活などに気をつけて頂き、症状が悪化する要因を遠ざける必要がありますから、個人情報保護を前提としてスマートフォン用のアプリを活用しながら情報共有を深め、外来では「アトピー教室」という交流の場を設けています。ビッグデータを活用しながら、一人ひとりのための個別化医療を目指しています。

## 前の患者さんのために

## 一步先の医療を目の

日本の健康保険制度では、適切な医療は基本的に保険診療の範囲に収まります。その上で、将来的に保険適用を目指す、未承認薬などを用いる先進的な医療については、一定のルールに基づき保険診療との併用が認められています。「患者申出療養制度」は、困難な病気と向き合う患者さんの思いに応えるために設けられている、患者さんが望む先進的な医療を自ら申請することができる制度です。申請が認められる場合、薬代などの患者申出療養に係る費用を除く、通常の治療費や入院費は保険診療の範囲に収まります。つまり、薬代などは全て自己負担になります。現在、難病である天疱瘡の患者さんにリツキシマブという薬を用いて回復を目指す医師主導での臨床試験が進んでいますが、治療を求めながらも対象とはならない患者さんに投薬ができない事例がありました。臨床試験によつては製薬メーカーが費用を負担したり、医師が研究費から費用を負担したりと、病気と向き合う患者さんの負担を軽減する仕組みがある一方で、臨床試験の対象とならずに同じ治療を受けようとする場合は治療費や入院費を含む全額が自己負担となります。この事例では「患者申出療養制度」を活用することで、保険診療と併用し、リツキシマブを用いた治療を提供し、自己負担を一部軽減することができました。慶應義塾大学病院は「患者申出療養制度」を実施できる「臨床研究中核病院」の指定を受けており、一人でも多くの患者さんに先進的な医療を届ける仕組みを整えています。

患者さんが望む  
先進医療を届ける仕組み  
「患者申出療養制度」を  
ご存知ですか？



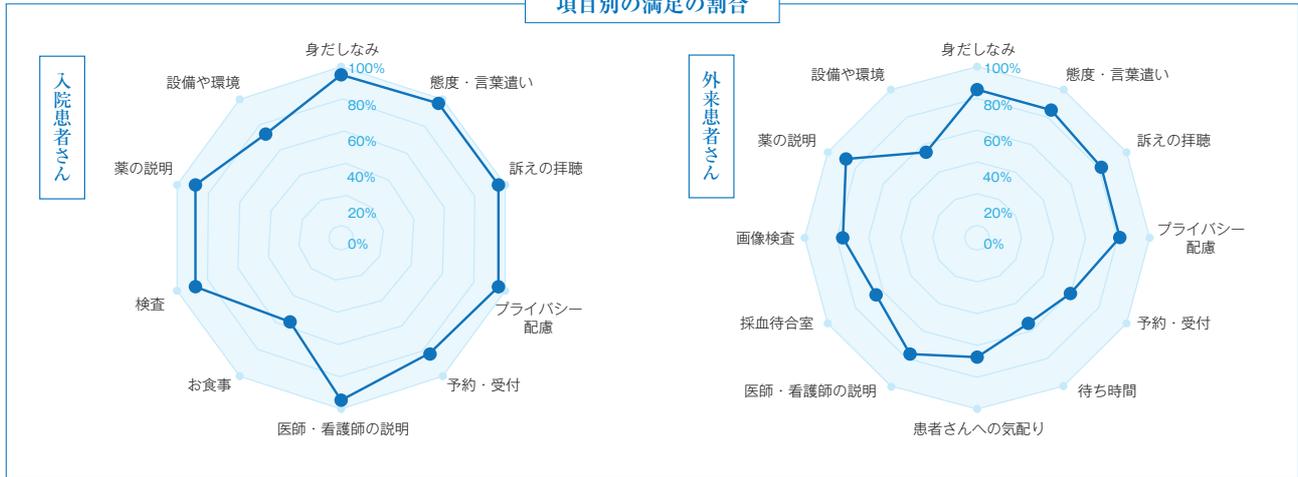
皮膚科  
ふなこし たける  
船越 建 医師

## 平成29年度患者さん満足度調査結果

対象患者さん	回答数	調査期間	平均満足度
入院	476件	10月16日(月)～ 10月29日(日)	89%
外来	1368件	10月26日(木)～ 10月27日(金)	74%

病院のサービス向上に役立てるために今年度も「患者さん満足度調査」を実施いたしました。待ち時間、病院設備、入院中の食事などについてさまざまな貴重なご意見をいただきました。今後の病院運営の改善に役立つよう活用させていただきます。また、常時、院内に「ご意見箱」を置いてあります。忌憚のないご意見をお聞かせください。

項目別の満足の割合



## 「患者サロン」開催

患者サロンは、がん患者さんとご家族、ご友人を対象としたセミナーや交流会を定期的に開催しています。どなたでも、ご参加いただけます。(参加費・無料)

開催日	テーマ	講演	交流会	時間
3月14日(水)	がんとりハビリテーション ～がんに負けない身体づくり～	○	○	午後2時00分～ 午後4時00分

お申し込み・お問い合わせ

がん相談支援センター 03-5363-3285(直通)

## 日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を取得



「病院機能評価 (3rd:Ver.1.1)」を受審し、11月に認定されました。病院機能評価とは、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。病院機能の改善に病院スタッフが一体となり取り組み、医療連携関連や医療感染制御体制と情報収集・分析、臨床検査関連、職員の能力開発など、病院の強みと言える取り組みが高く評価されました。

慶應義塾大学病院は、2017年7月に日本医療機能評価機構による

### 〈受付時間・休診日〉

外来受付時間 午前8時40分～午前11時00分  
 面会時間 (平日) 午後3時00分～午後7時00分  
 (土・休日) 午後1時00分～午後7時00分  
 休診日 日曜日、第1・3土曜日 / 国民の祝日・休日 / 臨時休診 (5月1日、5月2日)  
 年末年始(12月30日～1月4日) / 慶應義塾の休日(1月10日、4月23日)

### 〈診療担当医表〉

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと診療担当医表がご覧になれます。なお病院入り口脇の電子掲示板にも掲載しています。

